

ご 挨拶

望月 昭（立命館大学人間科学研究所所長・応用人間科学研究科教授）

人間科学研究所の望月でございます。今日は土曜日、大変良い天気の中、どうもご来場ありがとうございます。いつもはもっと広い会場がとれるのですが、今日は狭いところで、参加者も制限させていただきましたが満杯になってしまいました。本当にありがとうございます。うちの研究所でやるシリーズのシンポジウムでは、一番人がたくさんあつまるシンポジウムだと思います。

さきほど、荒木から紹介がありましたが、「高機能自閉症・アスペルガー症候群のシンポジウム」はこれで4回ということになりました。このシンポジウムのシリーズは、文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業オープン・リサーチ・センター整備事業「臨床人間科学の構築」（2005年度～2009年度）の一環としてとりくまれ、そのファンドでやっております。これが2005年度から2009年度まででして、今年がちょうど最終年度になっています。来年からまた別の事業展開をいろいろと考えておりますけれども、それとはともかく、このシリーズはきっとこれからも続くと思います。そして、みなさんのお力のおかげで続けられると思っております。

今日一日、長時間になりますけれども、杉山登志郎先生、藤川洋子先生を初め、非常に著名な方々をたくさんお呼びしてシンポジウムを企画しております。どうぞ最後までおつき合ください。簡単ですが所長の挨拶とさせていただきます。